

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

P	1	第1章 全体総括
P	1	第2章 法人経営部門
		1 部門総括
		2 事業シート
		(1) 法人の運営
		(2) 人材育成
		(3) 福祉関係施設の運営管理
		①指定管理施設の運営管理
		②社協施設の適正な運営及び利用の促進
P	7	第3章 福祉のまちづくり部門
		1 部門総括
		2 福祉のまちづくり課事業シート
		(1) 地域福祉活動計画事業の推進
		(2) 赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進
		福祉のまちづくり事業・地域助成事業
		(3) 社会福祉大会事業
		(4) 地域福祉受託運営事業
		高齢者ボランティアポイント事業
		児童発達支援地域スクール事業
		(5) ボランティアセンター事業
		ボランティアセンター事業
		ふれあい体育祭事業
		(6) 重層的支援体制整備事業
		重層的支援体制整備事業
		福祉まるごと相談室運営事業
P	14	3 地域生活支援課事業シート
		(1) 総合相談事業
		(2) 資金の貸付事業
		生活福祉資金貸付事業
		福祉つなぎ資金貸付事業
		保育士修学資金貸付事業
		(3) 日常生活自立支援事業
		(4) 地域後見サポート事業
		成年後見センター・法人後見事業
		(5) 育英基金事業
		(6) その他福祉受託事業・在宅福祉受託事業
		多機関協働事業
		ひきこもりサポート事業
		生活困窮者自立相談支援・家計改善支援・就労準備支援事業

- P 21 第4章 在宅福祉サービス部門
- 1 部門総括
 - 2 事業シート
 - (1) 在宅福祉サービス事業
 - (2) 高齢者福祉サービス
 - (3) 障がい者福祉サービス
 - (4) その他の福祉サービス
- P 29 第5章 附属資料
- (1) 法人経営部門
 - (2) 福祉のまちづくり部門
 - (3) 在宅福祉サービス部門

第1章 はじめに

新型コロナウイルスの影響が残る中、令和5年度は、第V期経営計画と第4期松阪市地域福祉計画・松阪市地域福祉活動計画の初年度として、各部門で事業運営に取り組みました。

これまで休止・縮小されていた地域の活動も新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に第5類へ移行されて以降は、徐々に活動も増え、再開に向けた支援や本会の各種事業も活動が増えていきました。こうした中、新たに三雲・飯南地域の福祉まるごと相談室受託や事業所の再編など、重層的支援体制の整備や施設・事業マネジメントを進めていくことができました。

三雲・飯南・飯高地域では、令和6年度からの指定管理受託者に選定され、経営計画に掲げている地域福祉や介護・障がい福祉サービス事業所の拠点を確保することができました。これにより今後、各部門の目標達成に繋げていくことができます。

自然災害を始めとする危機管理対応の整備は、本会として喫緊の課題であり、災害発生時における事業継続計画(BCP)を策定しました。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震対応においては、三重県社会福祉協議会からの要請により職員3名を順次、石川県輪島市社会福祉協議会へ派遣し、輪島市災害ボランティアセンターの運営に従事し被災地支援を行いました。

第2章 法人経営部門

1 部門総括

新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行となり、本会も新型コロナウイルス感染症の分類見直しに伴う対策・方針の変更を行いました。また、災害や感染症流行時でも事業継続できるよう法人として危機管理体制をより強化するため、事業継続計画(BCP)を策定しました。

組織運営においては、役員改選や例規類の見直しを行いスムーズに法人運営が図れるように整備しました。施設・事業マネジメントとしては事業を存続するかどうかも含めて、地域の状況や他法人の動向もふまえ協議しました。

第V期経営計画の初年度として、5つの目標を達成できるよう職員全体に説明会を実施し、四半期ごとに進捗管理を行い各部門の進捗状況把握や課題解決に向けて情報の共有を図りました。

職員の人材確保については就職セミナーや就職フェアに参加して本会の紹介を行い人材の確保に努めましたが、令和6年度の事業実施に向けた必要人数の充足には至りませんでした。今後も継続して将来を見越した必要な人材の確保に向けて積極的な採用を行うとともに、職員の専門性を高めるため、研修等の実施や資格取得に向けた支援・協力体制を強化していきます。

施設の運営については、令和元年度から令和5年度までの指定管理期間において適正な運営を行い、次期指定管理期間の管理者として選定されました。

令和6年度も法人経営の要としての経営基盤を強化するため、財源の確保と適切な予算の執行、施設・事業マネジメントの取組みや資金の有効活用に向けた基金の取崩しを行っていきます。

2 事業シート

(1) 法人の運営

(単位：円)

事業名	法人運営事業			
担当部署	本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所		予算額	306,295,000
経営計画との 関連性	目 標	4、5	執行済額	297,141,667
	実施項目	目標4、5のすべての項目	執行率	97.0%

【取り組み・成果】

- 役員の任期満了に伴う改選の結果、新しい経営体制となった
- 人員、人材の確保を行った
 - ア 職員確保のため三重県内の就職セミナーの参加や県内の大学訪問
 - イ 職員の充足のため令和5年度中も継続的な職員採用を行った
- 病気休暇職員の復職に向けた面談を実施
- 職員に第V期経営計画の説明会を実施
- 第V期経営計画と関連させた要員計画・資金計画策定に取り組んだ
- 事務の効率化向上のため勤怠管理システムを改めた
- 災害時等においても事業の継続ができるよう事業継続計画(BCP)を策定

◆活動実績

- 役員会等の開催 ※開催内容の詳細はP29に掲載
評議員会 3回 理事会 5回(書面1回) 評議員選任解任・委員会 1回 監事会 2回
- 職員確保の取り組み
 - ア 専門職養成機関へ訪問 大学 2件
 - イ 福祉の就職フェア出展 3回
 - ウ 令和5年度採用職員数 正規12名 契約6名 非常勤19名(登録ヘルパー、支援員含む)
- 安定した経営への取り組み
 - ア 地域福祉財源を確保する為、社協会費への協力を住民、関係団体等に依頼
(9,112,380円)
 - イ 要員計画、資金計画を策定
 - ウ 内部監査 7月～8月 各課・支所 2月 三雲支所
- 福祉の人材養成のため社会福祉士実習生受入れ 3名

(2) 人材育成

(単位：円)

事業名	職員研修事業			
担当部署	総務課		予算額	713,000
経営計画との 関連性	目 標	5	執行済額	475,170
	実施項目	(3)	執行率	66.6%

【取り組み・成果】

- 全体研修の実施と外部研修への参加
 - 新規採用職員(令和5年度採用)に対し新人職員研修(内部研修)の実施と、三重県社協主催の研修会(外部・派遣研修)へ参加した
 - ア 新規採用職員の試用期間終了に併せて所属長による面談を実施
 - 外部研修、内部研修の実施
- #### ◆活動実績
- 人事考課制度について見直しを行った
 - 新人職員への研修

- ア 新任職員研修(4月～3月) 12名
 - イ 新任職員研修(報告会) 10名
 - ウ 福祉施設職員新人研修 3名
 - エ 新任社協職員研修会 4名
- ※ウ・エは三重県社会福祉協議会への派遣研修

○ 全体研修の実施

- ア 地域福祉の研修 6/9
第4期松阪市地域福祉計画・松阪市地域福祉活動計画、第V期経営計画
- イ ハラスメント研修 1/26
- ウ 安全運転講習会 3/11

○ 外部研修への参加(三重県社協主催)

- ア 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程
初任者10名 中堅職員1名 リーダー1名 管理職員2名
- イ 業務継続計画(BCP)策定研修(社協分野) 3名

(3) 福祉関係施設の運営管理

① 指定管理施設の適正な運営及び利用の促進 (単位：円)

事業名	ハートフルみくも保健福祉センター事業		
担当部署	三雲支所 地域福祉係		予算額 19,246,000
経営計画との 関連性	目標	4	執行済額 19,246,558
	実施項目	(1)	執行率 100.0%

【取り組み・成果】

○ 活動の拠点施設の確保

- ア 指定管理期間満了に伴い、次期(令和6～令和10年度)指定管理者に選定された

○ 福祉活動がつながる企画や館内の環境整備を行ったことで、子育て支援や子ども食堂、リユース団体の活動が定期的に開催されるようになり、さまざまな世代の集いの場となった

○ ボランティア活動や老人クラブ活動の活性化、住み慣れた地域での暮らしを支えるつながりづくりとして、みくも高齢者のつどいを団体や支援機関、企業と協働で開催し約80人が参加。移動手段などの福祉ニーズの確認、新たなボランティア活動につながった

○ 介護、障がい、生活相談、困りごと等の福祉に関する相談の場

- ア コミュニティソーシャルワーカーや事業所の専門職による福祉相談体制をとり、専門機関へつなぎや活動機会(場)を提供した

○ 施設設備の維持管理

- ア 施設、設備修繕 8か所
- イ 貸館時の冷房温度低下不具合を職員の早出勤により対応
- ウ 事業所による日常的な保守整備、清掃

○ 施設・事業マネジメントの取組

- ア 公共建築物定期点検、専門業者による保守点検に基づいた修繕計画の要望
- イ 指定管理業務の範囲、自主事業のあり方を市と協議し施設の活用方針を整理
- ウ 備品の再点検、整理(廃棄)

○ 消防・総合訓練(内1回は告知なし垂直避難訓練) 年3回実施 延べ138名

○ 自主事業

- ア 写真ボランティアによる季節の風景写真展 常設展示
- イ ハートフルクリスマスどむならん公演会(共同募金配分事業・子ども子育て応援)

約 75 人

ウ ベビー用品リユース事業 譲受 355 点 譲渡 319 点

エ 能登半島地震被災地職員派遣パネル展(みんなのハートフルマルシェ共催)

(単位：円)

事業名	ハートフルみくもスポーツ文化センター事業			
担当部署	三雲支所 地域福祉係		予算額	28,107,000
経営計画との 関連性	目 標	4	執行済額	28,063,918
	実施項目	(1)	執行率	99.8%

【取り組み・成果】

- 施設を活用している地域サークルと協働し、卓球など誰でも参加できる講座を企画し地域交流の場となった
- 星空観察会や七夕笹流しなどの地域行事や保護猫譲渡会などを誘致し、地域活動の場や地課題解決の場として活用された
- 夏休み最後の日曜日、体育館を無料開放。障がい者と地域の子どもが共に運動遊びを行い交流が生まれた
- 施設設備の維持管理
 - ア 施設、設備修繕 8か所
- 施設・事業マネジメントの取組
 - ア 公共建築物定期点検、専門業者による保守点検に基づいた修繕計画の要望
 - イ 指定管理業務の範囲、自主事業のあり方を市と協議し施設の活用方針を整理
 - ウ 備品の再点検、整理(廃棄)
- クリスマスみんなで運動遊びをしよう(災害時逃げる身体づくり) 12/25 35名
- 自主事業
 - ア 卓球講座交流会 29名
 - イ バランスボール講座交流会 16名
 - ウ 腸活健康講座交流会 12名
 - エ 簡単エアロビクス 20名
 - オ 基礎から学ぶスマホ教室 9名

(単位：円)

事業名	飯南ふれあいセンター事業			
担当部署	飯南支所 地域福祉係		予算額	8,428,000
経営計画との 関連性	目 標	4	執行済額	8,429,000
	実施項目	(1)	執行率	100%

【取り組み・成果】

- 共同募金事業との協働による自主事業を展開し子ども学習支援、お楽しみ会を実施
- 施設設備の維持管理
 - ア 雨漏り修理完了
 - イ 空調設備エアコンの改修について検討
- 活動の拠点施設の確保
 - ア 指定管理期間満了に伴い、次期(令和6~令和10年度)指定管理者に選定された
- 多世代にわたる世代間交流を図る場としてふくしまつりを開催し、子どもから親世代その祖父母など多世代に渡る地域住民が集い、交流を通じて福祉の増進を図ることができた
- ◆活動実績
 - 台風接近による避難所開設 8/14
 - 子ども子育て応援事業「産後ヨガ」第1回 5/25 9名
 - みんなの居場所づくり事業
 - ア パンねんど体験6/14 5名
 - イ 夏休み勉強会 7/28 児童8名

- ウ 夏休みお楽しみ会(8/21、22、23) 児童 39名
- エ ふくしまつり 9/9 201名
- オ 寄せ植え教室 11/22 18名
- カ クリスマス会 12/22(クリスマスケーキ作りとジャグリング) 21名
- キ 冬休みペンきょう会(2日間)12/25、26 児童 11名
- ク 健康太極拳体験イベント 3/6 26名

(単位:円)

事業名	飯南高齢者生活福祉センター事業		
担当部署	飯南支所 地域福祉係		予算額 4,005,000
経営計画との 関連性	目 標	4	執行済額 3,594,937
	実施項目	(1)	執行率 89.8%

【取り組み・成果】

- 自主事業を実施
- 「いー南カフェ」の展開 (共同募金事業との共催)月2回開催
※地域の方が気軽に集えるセルフ式のカフェ
- 施設の活用に向けた整備を行った
- 活動の拠点施設の確保
ア 賃貸施設として、令和6年度の運用に向けて多世代交流センターいいなんの施設案内チラシの周知と開設準備

◆活動実績

- 自主事業
 - ア 健康太極拳 第1・第3水曜日/月 実施
 - イ いー南カフェ 第2・第4水曜日/月 実施
 - ウ 春のお茶会 4/12 25名
 - エ 第三包括出前講座 「介護保険について」4/26 7名
「地域でフレイル予防」6/28 6名
 - オ ワッフルづくり 5/24 8名
 - カ 多肉植物を楽しもう 7/12 10名
 - キ みんなでいきいき健康体操 8/9 10名

(単位:円)

事業名	飯高高齢者生活福祉センター事業		
担当部署	飯高支所 地域福祉係		予算額 14,936,000
経営計画との 関連性	目 標	4	執行済額 14,283,901
	実施項目	(1)	執行率 95.6%

【取り組み・成果】

- 自主事業を実施
- 居住事業
ア 入居者募集チラシ作成し地域に周知
イ お花見会を開催
- 施設設備の維持管理
ア 施設、設備修繕 4か所
- 活動の拠点施設の確保
ア 指定管理期間満了に伴い、次期(令和6~10年度)指定管理者に選定された

◆活動実績

- 台風接近による避難所開設 8/14
- 交流事業
 - ア 生け花教室実施 4/16 3名
 - イ 夏休み学習支援実施 8/2、8/7 17名
 - ウ 冬休み学習支援実施 12/26、12/27 17名
 - エ 絵手紙教室実施 2/10 2名

② 社協施設の適正な運営及び利用の促進

事業名	松阪支所		予算額	—
担当部署	松阪支所		執行済額	—
経営計画との 関連性	目 標	4	執行率	—
	実施項目	(1)		

【取り組み・成果】

- 地域交流室や各会議室の効率的活用
 - ア 松阪支所まつりの継続開催
 - イ 広域的な企業組織体(日産労連)のイベントを招致、9月に観劇イベントを開催
- 課題解決に向けた支援体制の構築
 - ア カフェサロン及び地域交流多目的室の利用を促進した
 - イ 伊勢市社会福祉協議会の職員を招き、支所運営や事業所運営による共通課題やその解決策についての意見交換を行う
 - ウ 済生会松阪総合病院との業務提携により、特定検診日における事業所紹介ブースへの参入機会について周知を行うことができた
- 福祉まるごと相談室(鎌田)との協働によるイベントの開催
- 施設・事業マネジメントの実施において、マネジメント対象事業のサービス提供場所を地域交流多目的室へと変更し、施設利用及び事業推進の効率化を図った

◆活動実績

- ふらっとカフェ(みんなの居場所づくり事業)の開催 月2回
- 多職種連携会議 隔月1回、TEAM 松阪会議 月1回
- 環境美化活動(花壇整備や屋外清掃等) 月1回
- 地域多目的交流室での食料提供事業(随時)
- 各種学校の福祉資格取得に向けての勉強会に関する会場提供

(単位：円)

事業名	社会福祉センター管理補助事業		予算額	11,794,000
担当部署	嬉野支所		執行済額	11,612,671
経営計画との 関連性	目 標	4	執行率	98.5%
	実施項目	(1)		

【取り組み・成果】

- 社会福祉センターの大規模修繕に向けて、施設の使い方や必要な設備について職員間で協議を行った
- 社会福祉センターを活用した新規事業の実施
 - ア えがおを つなぐ つなげる こどもふくりユース
 - ※買い替えサイクルの早い子ども服(~130cm)を必要な方へ譲り合う場の提供
 - イ 交通安全教室
 - ※小学校新1年生に黄色い雨傘の贈呈と交通安全の啓発教室を開催
 - ウ URESHINO あったかごはんプロジェクト
 - ※子育て家庭を中心とした潜在的な福祉課題・相談者の発掘を目的に実施。中川小学校に通学する就学援助制度利用家庭のうち、希望世帯へお米などを配布(中川小学校協力)

- 赤い羽根共同募金を活用した幅広い世代に利用される仕組みづくり

◆活動実績

- 社会福祉センター自主事業(就労継続支援B型事業所自主製品展示販売、みんなでイキイキ体操!)
- 赤い羽根共同募金配分事業(防災フェスタ、交通安全教室、“ふわり”と夏の思い出づくり、★のびのびBABY・KIDSひろば★、うれたまごカフェ、えがおを つなぐ つなげるこどもふくりユース(嬉野マルシェ))
- 地域福祉教育における施設の活用(中原小学校)
- 台風接近による避難所開設 8/14
- ボランティア連絡協議会(嬉野支部)主催で「ボッチャ大会」を開催

第3章 福祉のまちづくり部門

1 部門総括

令和5年度、福祉のまちづくり部門は地域福祉の推進を中心とする福祉のまちづくり課と、個別支援を担う地域生活支援課の2課体制で、松阪市の重層的支援体制の一端を担い、個別課題を地域の仕組みづくりへつないでいきました。

福祉のまちづくり課としては年度当初に職員向けに第4期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の説明会を行い、各計画への共通認識が持てるよう理解の促進を図りました。

ボランティアセンターや地域担当が行う「ふれあい体育祭」の半日開催や福祉教育実施の依頼件数、赤い羽根共同募金配分金の助成先や募金運動協力申込みが増加するなど地域に活気が戻ってきています。

また、松阪市の「重層的支援体制整備事業」では7月に新たに三雲、飯南の「福祉まるごと相談室」が開設され、令和4年度に受託した嬉野・飯高と合わせて4名職員が福祉職として配置されました。新たな取り組みとしては社会福祉法人として地域の課題を解決できる仕組みづくりのため、松阪市内の社会福祉法人に声をかけ「社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組のつどい」を行いました。

地域生活支援課では、「多機関協働事業」や「包括的相談支援事業」に加え、「ひきこもり相談窓口」や「福祉まるごと相談室」、コミュニティソーシャルワーカーと連携・協力して積極的なアウトリーチを実施しました。

令和5年度からは、成年後見センターが中核機関に位置付けられたことに伴い、地域連携ネットワーク協議会を設置しました。今後は成年後見制度の利用が必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域の仕組みづくり関係機関の協力体制づくりのためのコーディネートを行う中核的な機関としての機能や役割を担っていきます。

多機関協働事業については、令和6年度より受託事業から松阪市の直営での実施となりますが、引き続き松阪市と連携しながら、複合化・複雑化した課題に対する支援に取り組んでいきます。

2 福祉のまちづくり課事業シート

(1) 地域福祉活動計画事業の推進

(単位：円)

事業名	地域福祉活動計画事業		
担当部署	福祉のまちづくり課	地域福祉係	予算額 12,175,000
経営計画との 関連性	目標	1	執行済額 12,175,000
	実施項目	(1)	執行率 100.0%

【取り組み・成果】

○ 第4期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

ア 人づくり

ア) 本会主体となる取組み

福祉を学ぶ講座「ふくしわくわく学び隊」(松阪)、ベビー用品リユース事業(三雲)、「茶ちゃ丸見守り隊」(子ども隊員)による見守り体制づくり、勉強会やお楽しみ会などみんなの居場所づくり、こども園との交流会(飯南)、三雲中学校と協働した高齢者買い物支援など

イ) 地域の活動支援

有償ボランティア「ライフサポート嬉野」立ち上げ支援、豊地地区見守りネットワークづくり研修会、コミュニティスクールの会議への参画、能登半島地震義援金募金活動、小中学校・地域住民・支援機関などと連携した地域福祉教育の実施、地域防災講座や行事、中学校の課題探求型学習(飯高)など

ウ) コミュニティコーピング(超高齢社会疑似体験ゲーム)の実施(本会職員・嬉野地

- 域)
- イ 場づくり
- ア) 本会拠点を主体とした取組み
鎌田まるごと相談室と連携した子育てカフェ、のびのび BABY・KIDS ひろば、いー南カフェ、健康太極拳、飯南ふくしまつり
- イ) 障がい者支援事業所と連携をした子ども・ボランティア団体・地域住民との交流事業・防災訓練(嬉野・三雲)
- ウ) 長期休暇期間中の学習支援会・子どもの居場所開催(飯高)
- エ) 市民活動団体・子育て支援団体・百貨店プロジェクト協賛店など、団体と連携した居場所づくりやイベント事業の実施
- ウ ネットワークづくり
- ア) 本会主体となる取組み
子ども食堂への寄附金や食料品のつなぎ支援(本所・松阪)、「えがおをつなぐ つなげる こともふくりユース」の開催、宅老所間ネットワークづくり研修会・高齢者見守り声掛け訓練の実施(嬉野)、クリニック・企業の連携による社会的弱者を支援する仕組みづくり(嬉野・飯高)、「大切な人の想いを届けようプロジェクト」実施(嬉野・三雲)、民生委員や地域役員、小学校やサークル団体などと連携し見守り配食サービス、市民活動団体・子ども食堂・社会福祉法人などのネットワークづくり、企業や団体などと連携した寄贈食料品をつなぐ仕組みづくり、猫一時預かり事業のモデル実施など
- イ) 地域の支援
マックスバリュ移動販売事業の推進(松阪・嬉野)、「柿野支援隊」の活動支援(飯南)、市民活動団体が企画する松阪版 HUG の検討、「コープみえ」の買い物支援に関する協議(本所・飯南)
- ウ) プラットフォーム構築に向けた地域へのアプローチ、会議体の運営・参加など
- 第4期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知
- ア 本会職員の共通認識を図るため、全職員に向けて説明会を開催
- イ 地域担当者へ内容理解を深めるための情報共有を行う
- ウ 評価方法について、福祉のまちづくり部門リーダー会議にて評価案を提示
- エ 市民活動団体などが集まる場、松阪市の出前講座での計画説明

(2) 赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進 (単位:円)

事業名	福祉のまちづくり事業			
担当部署	本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所		予算額	6,317,000
経営計画との 関連性	目 標	1	執行済額	6,127,000
	実施項目	(1)	執行率	100.0%

【取り組み・成果】

- ① 一般配分金事業
- ア 情報の発信・共募 PR
- ア) 公式 LINE アカウントを使用した情報発信
- イ) 地域のまつりやイベントでの共同募金ブース出店による啓発
- ウ) 令和4年度に募集したデザインを基に共同募金啓発用のシールを作成し PR(歳末含)
- イ 生活応援ふくし
- ア) 企業や個人から寄せられた食糧や生活用品を活用し、生活が困窮し困っている方に対し生活再建のつなぎ支援を実施(歳末含)
- イ) 生活相談支援センターと協議し、就労に向けた支援としてリクルートシャツや履歴書に貼付する写真印刷用プリンタ等を購入
- ウ 地域の移動手段となる松阪コミュニティ交通への協賛支援

- ア) 回数券を生活困窮者世帯、買い物難民者などに配布。また、回数券は三雲中学校の高齢者買い物支援授業でも活用
- エ 障がい(児)者サポートブックの推進
 - ア) NPO 法人エールの会と「サポートブックを作るお手伝い会」を開催。サポートブック改訂版を作成
- ② 地域歳末たすけあい配分金事業
 - ア 情報の発信・共同募金のPR
 - ア) 絵手紙ボランティア協力のもと、サマーボランティアスクールで赤い羽根共同募金講座を開催。店舗など設置用の募金箱に添える絵手紙を作成
 - イ) 赤い羽根の自動販売機を飲料メーカーとの協働により松阪市内の企業へ新規に設置
 - ウ) UMOUプロジェクトの推進。みえ松阪マラソン2023応援&清掃ウォークに参加し、羽毛製品のリサイクルが募金になる仕組みについて周知を行った
 - エ) 松阪共同募金のつどいを開催。中央共同募金会事務局長を講師に迎え、ポストコロナにおける共同募金運動について周知・啓発を行った
 - イ 子ども交通安全推進
 - ア) 交通事故を防ぎ安全に生活できる環境づくりを目的とした、小学校新一年生に赤い羽根共同募金のロゴ入り交通安全傘を寄贈
 - ウ あったかごはんプロジェクト
 - ア) 企業や個人から寄せられた食糧品を市内の200世帯以上に配布
 - イ) 各支所にて子ども食堂団体・市民活動団体などと協働し、炊き出しを実施

(単位：円)

事業名	地域助成事業		
担当部署	本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所		予算額 20,553,000
経営計画との	目 標	1	執行済額 20,553,000
関連性	実施項目	(1)	執行率 100.0%

【取り組み・成果】

- ① 一般配分金事業
 - ア 地域福祉活動推進
 - ア) 審査会を行い松阪市内40地区の住民自治協議会や地区福祉会に助成
 - イ 地域づくり(地域の絆)
 - ア) 住民自治協議会・地区福祉会が主催する地域交流行事33件に助成
 - ウ 市民活動(公募:はじめの一步部門・一般部門)
 - ア) 審査会を行い松阪市内で活動する有償ボランティア団体などの9団体に助成
 - イ) 団体活動の一助となるワンポイントセミナーや団体間でのネットワークづくりを目的とした意見交換会「市民活動団体のつどい」を開催
 - エ 福祉活動
 - ア) 既存の団体以外に、公募枠へ2団体の新規応募があった
 - オ 子どもの居場所づくり助成(三重の赤い羽根共同募金百貨店プロジェクトの活用)
 - ア) 学習支援や子ども食堂、遊びの拠点づくりなど、松阪市内で活動する7団体に助成
 - カ 地域福祉教育推進(学校が地域と取り組む福祉教育の推進)
 - ア) 松阪市内29校に助成。学校が地域の福祉課題解決の視点でキャリア教育に取り組むきっかけとなった
 - キ 障がい者施設行事
 - ア) 障がい者施設を拠点とした地域交流行事に助成
 - ク 宅老所活動支援
 - ア) 宅老所立ち上げ、継続的な活動に対する支援に助成
 - ケ 子ども行事

- コ 子育て支援行事に助成(子育てサークル・放課後児童クラブ)
 - ア) 子育てサークルや放課後児童クラブが行う地域交流行事に助成
- ② 地域歳末たすけあい配分金事業
 - ア 歳末たすけあい地域福祉活動推進
 - ア) 審査会を行い松阪市内 35 地区の住民自治協議会や地区福祉会に助成

(3) 社会福祉大会事業 (単位：円)

事業名	社会福祉大会事業		
担当部署	福祉のまちづくり課・総務課		予算額 920,000
経営計画との 関連性	目 標	1	執行済額 889,297
	実施項目	(1)	執行率 96.7%

【取り組み・成果】

- 社会福祉功労者及び団体の顕彰とボランティアの周知・啓発を目的として実施
- ボランティアや赤い羽根共同募金の啓発、障がい事業所の自主製品販売のブースをはじめ、社会福祉協議会各支所による地域のふれあいコーナー(うどん販売、こどもふくりユース、カラオケ、物産販売、飯南高校美術部のラテアート等)を設置し、来場者増を図った
- ボランティア団体は松阪市ボランティア連絡協議会から 22 団体、障がい事業所の自主製品販売では 13 事業所にご参加いただきました。SDGs のテーマにもつながる子供服のリユースコーナーや、スタンプラリーを実施したため、子ども連れの来場者も多い印象であった

◆活動実績

- 第 19 回 松阪市社会福祉大会
 - 開催日時 12 月 10 日(日) 10 時～12 時 30 分
 - テーマ 「地域の絆と支援の輪で いきいきと自分らしく暮らせるまち松阪」
 - 場 所 嬉野ふるさと会館
 - プログラム オープニング ジャズユニット「Unlimited Groove」
 - 表彰式(社会福祉功労者及び団体の顕彰：被表彰者 36 名 46 団体)
 - ボランティア団体の舞台発表
 - 音楽のアトリエ「MUSICANO」
 - 赤い羽根共同募金運動の紹介
 - 障がい児(者)施設による自主製品オリジナルショップ
 - ボランティア団体などによる啓発
- 実行委員会の開催 年 4 回
- 表彰など審査委員会の開催 9/30 ※大会記念品の決定含む

(4) 地域福祉受託運営事業 (単位：円)

事業名	高齢者ボランティアポイント事業		
担当部署	福祉のまちづくり課 地域福祉係		予算額 3,307,000
経営計画との 関連性	目 標	1	執行済額 2,957,213
	実施項目	(1)	執行率 89.4%

【取り組み・成果】

- 新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、活動員の活動、施設側のボランティア受入れの相談が増加。特に通所型事業所にて、演芸披露、話し相手、囲碁将棋などの活動ニーズが多く見られた
- ボランティア受入れ事業所登録 新規 1 件追加(8 月～新規開設事業所)
- 社協だより 8 月号でささえさん会員の募集、松阪市の広報 9 月号で活動内容を掲載するなど啓発を行った
- 市の担当課より、受入れ事業所へのボランティア受入れ状況把握のためのアンケート調査を 2 回実施(12 月、3 月)

◆活動実績

- オリエンテーション開催 6回 参加者計 13 名
- ささえさん研修交流会 3回 参加者計 31 名
- ポイント還元について

交付額(円)	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	合計
交付活動員数(名)	9	16	4	11	34	74
転換ポイント数	180	640	240	880	3,400	5,340
合計額	9,000	32,000	12,000	44,000	170,000	267,000

(単位：円)

事業名	児童発達支援地域スクール事業		予算額	7,650,000
担当部署	福祉のまちづくり課 地域福祉係		執行済額	7,036,027
経営計画との 関連性	目 標	1	執行率	92.0%
	実施項目	(1)		

【取り組み・成果】

- 松阪市(そだちの丘)や実行委員会と協議し、夏 10 日間、冬 2 日間、春 2 日間の全 14 日開催
- 地域との繋がり、理解のため地域住民にレクリエーションの講師を依頼
(初)鈴の森住民自治協議会、花岡地区福祉会、杉の子
(2回目)徳和住民自治協議会、松阪三珍花保存会
- メディア(行政チャンネル、夕刊三重、中日新聞)を通して広く情報発信することで、参加児童実人数及び延人数、ボランティア実人数が前年の概ね倍となった

◆活動実績

- 地域スクール 夏 10 日間、冬 2 日間、春 2 日間実施
 - ア 参加児童 実人数 25 名(夏 10、冬 9、春 6) 延人数 67 名(夏 48、冬 12、春 7)
 - イ ボランティア 実人数 107 名 延人数 121 名
 - ウ 運営人数(延べ) エールの会人数 46 名、そだちの丘職員数 22 名、生活アシスタント数 22 名
- 保護者説明会 1回 参加者 1 名
- ボランティア説明会 2回 参加者計 48 名

(5) ボランティアセンター事業

(単位：円)

事業名	ボランティアセンター事業		予算額	5,309,000
担当部署	福祉のまちづくり課 地域福祉係		執行済額	4,367,156
経営計画との 関連性	目 標	1	執行率	82.3%
	実施項目	(1)		

【取り組み・成果】

- ボランティア相談・活動支援体制の充実
 - ア ボランティア活動の幅を広げるための取り組み
 - ア) ボランティアサロンにて、防災研修を行った
 - イ) 地域おこし協力隊との交流を企画し、ボランティアの意欲向上につなげた
- 災害ボランティアセンターの体制整備
 - ア 災害ボランティアセンター運営マニュアル策定に向けて松阪市と協議
 - イ 災害ボランティアセンターサポートスタッフ養成講座(第 12 期生)を実施。15 名が受講し、11 期生含む 10 名が修了(これまでの修了生 161 名)
- 被災地支援
 - 「令和 6 年能登半島地震」ブロック応援派遣
第 7 クール 2/17~24 第 16 クール 3/26~4/1 第 17 クール 3/30~4/5

◆活動実績

- 福祉教育、ボランティア活動に関わる機会の提供
 - ア サマーボランティアスクールを全6回開催
 - イ ユニバーサルデザイン教育 学校 12校 高校 1校 計22回
 - ウ 防災教育 小学校 5校 計7回
- 登録ボランティア数

	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
グループ (単位：G)	44G 595名	10G 114名	7G 86名	5G 119名	4G 35名	70G 949名
個人	6名	2名	2名	0名	10名	20名
計	601名	116名	88名	119名	45名	969名

(単位：円)

事業名	ふれあい体育祭事業			予算額	858,000
担当部署	福祉のまちづくり課 地域福祉係			執行済額	852,064
経営計画との 関連性	目 標	1		執行率	99.3%
	実施項目	(1) - 2			

【取り組み・成果】

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、半日開催となる。食事は中止となったが、参加者が楽しみにしている餅つきは持ち帰りという形で実施

◆活動実績

- 令和5年度ふれあい体育祭
 - 開催日時 6月4日(日) 13時～16時
 - 当日参加者総数 458名
 - ア 障がい者団体 5団体 53名(付き添い含む)
 - イ 障がい者事業所 14事業所 163名(職員含む)
 - ウ 障がい者個人 4名(付添含む)
 - エ ボランティア 一般53名 学生13名
 - オ その他 172名(来賓含む)
- 実行委員会の開催 3回

(6) 重層的支援体制整備事業

(単位：円)

事業名	重層的支援体制整備事業			予算額	77,894,000
担当部署	本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所			執行済額	76,972,452
経営計画との 関連性	目 標	1		執行率	98.8%
	実施項目	(1)、(2)			

【取り組み・成果】

- アウトリーチ事業
 - ア 潜在的ニーズを抱える人の早期発見のための支援機関などへの周知と連携強化
 - ア) 民生委員児童委員協議会、住民自治協議会、相談支援機関、サロンなどへのチラシによる周知
 - イ) 毎月のコミュニティソーシャルワーカー会議での協議・報告
 - ウ) 「URESHINO あったかごはんプロジェクト」の実施
 - 中川小学校と連携し、支援につながりづらい世帯など、潜在的なニーズを掘り起こすことを目的に、お米・企業寄附のレトルト食品・生理用品を希望世帯へ配布
 - 対象世帯 55世帯中6世帯(世帯当たり平均人数4.16人)
 - イ アウトリーチ支援プランの作成
- 参加支援事業
 - ア 松阪市が開設するひきこもり相談窓口と連携し、相談者に対してアセスメントを実施。窓口が行う居場所へ参画し、利用者の参加支援へとつなげた
 - イ 参加支援プランの作成

- 生活困窮者支援等のための地域づくり事業
 - ア 福祉まるごと相談室との連携
 - ア) プラットフォーム構築、居場所づくりの協議、移動販売の推進と拠点づくり、地域診断シートの作成、Link ダイアリーの検証
 - イ 暮らしまるごとちゃちゃマップによる資源の見える化の活用検討
 - ウ あったかごはんプロジェクト対象者のつなぎ支援
 - エ 子ども服リユース事業や子どもの居場所にて、企業寄附の配布(嬉野)
 - オ 幸せのリサイクルプロジェクトの実施(松阪)
- 社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組
 - ア 「社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組のつどい」(以下、「公益的な取組のつどい」という。)開催に向けた松阪市との協議
 - イ 先進地、大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会と zoom での打合せ
 - ウ 松阪市内社会福祉法人、福祉まるごと相談室、多機関協働連携機関及び本会内事業所へ、課題・新しい仕組み・法人や地域との連携状況についてアンケート調査を実施
147 件中 75 件回答(回収率約 51.0%)
 - エ 松阪市内 38 か所の社会福祉法人への依頼訪問
 - オ 第 1 回「公益的な取組のつどい」を開催。10 法人が参加 9/21
 - カ 第 2 回「公益的な取組のつどい」を開催。11 法人が参加 1/24
 - キ 社会福祉法人メーリングリストの立ち上げ

◆活動実績

相談件数 298 件 アウトリーチプラン作成 3 件 参加支援プラン作成 1 件

(単位：円)

事業名	福祉まるごと相談室運営事業			
担当部署	嬉野・三雲・飯南・飯高支所		予算額	25,431,000
経営計画との 関連性	目標	2	執行済額	24,136,926
	実施項目	(1)	執行率	94.9%

【取り組み・成果】

- 健康、福祉の総合相談
 - ア 全世代型の相談窓口として相談受付を行い、高齢、障がい、子ども、生活困窮などの専門相談機関につなぐが、状況により伴走支援を必要とするケースもあり対応を行った
 - イ 複雑化・複合化ケースは Link シートを作成して多機関協働事業へ、健康の悩みは健康センターはるるへ、介護予防の案件は地域包括支援センターへつなぐことができた
- 健康づくり、介護予防の事業実施と啓発
 - ア 医療職中心に行う健康講座、健康相談、集団検診、母子乳幼児健康相談や検診の受信促し、受診結果の説明や指導を目的とする訪問などのサポートを行った。また、介護者カフェやサロンで出前講座を開催し、周知啓発活動を行った
- 見守り、支援のネットワークづくり
 - ア 嬉野ではまるごと相談室と地域担当が連携し、プラットフォームの構築を中心に進めた。豊地・豊田・中郷地区では茶々マップやコミュニティコーピングを通して地域の課題に対して共に取り組むスタートラインに立つ所まで進んだ。また、中原地区では、「福祉を語る会」と称して地域の福祉課題について、まちづくり協議会等の地域関係者、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、まるごと相談室、当会とで話し合う場ができた
 - イ 三雲では米ノ庄地区のコミュニティセンター化を機に、地域課題等を改めて検討できるようコミュニティコーピングを導入していき、プラットフォームを具体化していくよう議論した
 - ウ 飯南では「飯南地域における見守り体制構築のための会議」に参加し、関係機関と高齢者の見守りに関する情報や課題を共有することで要支援者の早期発見、早期支援につなげている

◆活動実績

- 7/4に三雲・飯南のまるごと相談窓口が開設。松阪市社会福祉協議会として福祉の専門員を配置した。地域の集いや関係機関への周知活動、イベントを通じた出張相談などを行い、相談受付につながっている
- 小地域ごとのプラットフォーム構築に取り組み地域課題の解決について話し合いができる体制が出来つつある地域、ようやく体制づくりに取り掛かれるようになった地域、まだまだ理解を得るのに時間を要する地域などあり地域の実情にあわせて体制を整えていく

○相談実績

(単位:件)

	相談件数	来所	電話	訪問	出張相談	メール	その他
嬉野	516	115	226	144	29	1	1
三雲	378	78	207	79	6	1	7
飯南	186	33	70	67	5	1	10
飯高	322	60	159	57	42	2	2
合計	1,402	286	662	347	82	5	20

○相談内容

(単位:件)

相談内容	嬉野	三雲	飯南	飯高
介護について	125	185	20	18
障がいについて	79	32	27	8
病気・健康について	278	76	49	30
経済的課題(生活困窮、就労支援等)について	156	26	64	17
生活環境について	150	30	36	16
身寄り・終活について	60	2	5	1
子育てについて	4	11	19	6
ひきこもり・不登校について	20	19	10	1
DV・虐待について	3	8	2	1
人間関係について	132	19	9	3
その他	55	94	52	27
計	1,062	502	293	128

3 地域生活支援課事業シート

(1) 総合相談事業

(単位:円)

事業名	総合相談支援事業		予算額	3,646,000
担当部署	本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所		執行済額	3,397,275
経営計画との関連性	目標	2	執行率	93.2%
	実施項目	(2)		

【取り組み・成果】

○ 相談所の開催

- ア 心配ごと相談：松阪支所（77件）、嬉野支所（7件）で定期相談を実施
- イ 法律相談：月2回の法律相談を実施（268件）
- ウ 司法書士相談：R5年11月より年3回の司法書士相談を実施（13件）

(2) 資金の貸付事業

(単位:円)

事業名	生活福祉資金貸付事業			
担当部署	本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所		予算額	4,508,000
経営計画との	目 標	2	執行済額	4,704,900
関連性	実施項目	(2)	執行率	104.4%

【取り組み・成果】

○ 生活福祉資金の貸付

ア 緊急小口資金等の特例貸付に係る貸付金償還免除への対応

イ 生活相談支援センターと生活実態把握を行い、就労や家計等の支援として関係機関へ繋げた

ウ 教育支援資金を活用し世帯の自立へつなぐ相談支援を行った

エ 通常貸付での自立・生活支援、社会参加のための相談・支援

○ 生活相談支援センターと協働し通常貸付の長期・複数回返済滞納者に対して文書や電話による相談支援を行い償還への支援を行った

○ コロナ特例貸付けの貸付

◆活動実績

○ 緊急小口資金 19件 1,610,000円

○ 福祉費

ア 福祉資金福祉費 4件 1,813,000円

イ 教育支援資金 18件 11,537,000円

○ 生活福祉資金貸付コロナ特例貸付

ア 判定年度免除申請 89件

イ 次年度以降非課税免除 35件

ウ 任意免除 22件

エ 猶予 28件

(単位:円)

事業名	福祉つなぎ資金貸付事業			
担当部署	地域生活支援課		予算額	600,000
経営計画との	目 標	2	執行済額	110,000
関連性	実施項目	(2)	執行率	18.3%

【取り組み・成果】

○ 生活が維持できるように速やかに対応した。保護費の紛失や家電購入のための貸付を行った

◆活動実績

○ 貸付件数 6件 110,000円

(単位:円)

事業名	保育士修学資金貸付事業			
担当部署	地域生活支援課		予算額	13,771,000
経営計画との	目 標	2	執行済額	14,753,401
関連性	実施項目	(2)	執行率	107.1%

【取り組み・成果】

○ 指定保育士養成施設の学生に修学資金の貸付を行った

ア 令和6年度の募集開始(9月)

イ 保育士修学資金貸付猶予審査会の開催

○ 三重県教育委員会、三重県私学会への事業周知依頼を行った

ア 主要な養成施設、高等学校へ訪問し、周知や学生の支援について進路指導担当者へ協力を依頼

○ 生活課題を抱えた貸付け希望者への相談支援

◆活動実績

- 令和3年度入学者 10名のうち8名が松阪市内保育園等へ就労、1名が大学在学中のため償還猶予を決定、1名は償還中。令和元年度入学者1名松阪市内保育園へ就労した
- 令和4年度入学者(貸付2年目)前期9名後期9名へ貸付金を送金
- 令和5年度入学者(貸付1年目)前期5名後期5名へ貸付金を送金
貸付金返還4名 1,200,000円、貸付金償還済1名 1,200,000円

(3) 日常生活自立支援事業 (単位：円)

事業名	日常生活自立支援事業		
担当部署	地域生活支援課 権利擁護係	予算額	27,068,000
経営計画との関連性	目 標	2	執行済額
	実施項目	(2)	執行率
			27,010,338
			99.8%

【取り組み・成果】

- 支所へ専門員を配置し、身近地域における権利擁護支援体制を整えた
- 成年後見制度へ繋げた事例が9件。判断能力の低下や法的手続きの必要性に応じ、松阪成年後見センターとも協力しながら支援を行った

◆活動実績

- 令和5年度 相談・契約実績

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談援助件数	689件	221件	2,266件	124件	3,300件
契約件数	17件	6件	13件	0件	36件
解約件数	13件	6件	4件	1件	24件

- 実利用者数件数(令和6年3月末現在)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
75件	48件	71件	8件	202件

- 生活支援員 登録人数 24名 活動人数 24名 延べ支援回数 3,494回

(4) 地域後見サポート事業 (単位：円)

事業名	成年後見センター事業		
担当部署	地域生活支援課 権利擁護係	予算額	16,123,000
経営計画との関連性	目 標	2	執行済額
	実施項目	(2)	執行率
			16,529,437
			102.5%

【取り組み・成果】

- 関係機関主催の研修会に講師として出向き成年後見制度や松阪市成年後見センターの周知を行った
- 中核機関を受託し、関係機関に周知をした。裁判所との関わりが強まり、裁判所の紹介による相談者が増えた
- 中核機関としての役割
 - ア 松阪市地域連携ネットワーク協議会を開催 年1回
 - イ 地域後見サポート事業運営委員会を開催し、活動に対し相談助言を受けながら事業を行った

◆活動実績

- 成年後見センターの円滑な運営と推進
 - ア 広報・啓発 来所相談時の制度説明、パンフレットの配布
成年後見制度についての研修：年4回
 - イ 相談実績
310件(認知：146件、精神：71件、知的：46件、その他：18件、不明：29件)
 - ウ 利用支援 申立て支援(申立て書類作成相談支援・受理面談同席：18件)
 - エ 関係機関との連携
- 地域後見サポート事業運営委員会 年6回

- 三重県権利擁護支援研修・調査委員会 年1回
- 「成年後見制度」に係る市町ヒアリング 年1回
- 家事関係機関との連絡協議会 年1回
- 公証役場との情報交換 年1回

(単位：円)

事業名	法人後見事業		
担当部署	地域生活支援課	権利擁護係	予算額 1,326,000
経営計画との 関連性	目 標	2	執行済額 1,563,472
	実施項目	(2)	執行率 117.9%

【取り組み・成果】

- 地域後見サポート事業運営委員会を開催し、法人後見活動に対し相談助言を受けながら事業を行った

- 後見支援員(2名)が支援を開始した

◆活動実績

- 無報酬で受任していた被保佐人が成年後見制度利用支援事業を利用できたことで、保佐人報酬が得られた

- 受任件数 10 件(後見：4 件、保佐：6 件)

(5) 育英基金事業

(単位：円)

事業名	育英基金事業		
担当部署	飯南支所	地域福祉係	予算額 3,492,000
経営計画との 関連性	目 標	2	執行済額 768,604
	実施項目	(2)	執行率 22.0%

【取り組み・成果】

- 3名の申請希望があり、内2名に奨学金の給付を行う

- 償還について令和5年度で予定通り終了した貸付者2名に対して完済証明書を発行し、未償還者へは償還通知を継続

◆活動実績

前年度末 未償還額	5,078,000
令和5年度 貸付額	360,000
令和5年度 償還額	1,374,000
令和5年度 未償還額	4,064,000

(6) その他福祉受託事業・在宅福祉受託事業

(単位：円)

事業名	多機関協働事業		
担当部署	地域生活支援課	生活相談支援係	予算額 8,351,000
経営計画との 関連性	目 標	2	執行済額 8,031,866
	実施項目	(1)	執行率 96.2%

【取り組み・成果】

- 重層的支援ネットワーク会議(研修会)を重ねてきたことで、参加者の理解が深まり、支援会議の技術が向上し、更には関係機関同士の関係が深まった

- 多機関協働事業へケースが繋がれ、担当職員間で共有協議を重ねてきたことで、スクリーニングの仕組みを確立することができた

- 支援会議や重層的支援会議の開催を重ね、松阪市における多機関協働の在り方を示すことができた

- 松阪市との協議により、令和6年度からは松阪市が直営で事業を実施していくこととなった

◆活動実績

- 重層的支援ネットワーク会議(研修会)開催 全9回

- ア アドバイザーによる事例検討 3回

- イ アドバイザーによる講義 2回
- ウ 支援機関による実践発表 1回
- エ テーマ別講演会開催 3回
- 相談受付件数(Linkシート) 新規受付 14件
- プラン作成件数 全36件
 - ア 新規プラン12件
 - イ 再プラン24件
- 終結件数 9件
- 重層的支援会議開催回数(相談支援包括化推進員主催) 20回
- 社会福祉法に基づく支援会議回数(松阪市主催) 26回
- 松阪市との協議により、令和6年度からは松阪市が直営で事業を実施していく事となった

(単位:円)

事業名	ひきこもりサポート事業		
担当部署	地域生活支援課	生活相談支援係	予算額 6,553,000
経営計画との 関連性	目 標	2	執行済額 6,237,120
	実施項目	(2)	執行率 95.2%

【取り組み・成果】

- ひきこもりに関する理解の促進および周知啓発
 - ア 松阪市の広報媒体の活用および相談支援機関の窓口にチラシを設置するなど、周知啓発を行った。市民の認知度が上がり、窓口の活用ができた
 - イ 市内各地区にて出張相談を実施。地域振興局だけではなく、隣保館や地元企業の建物を設置場所とし、身近な相談窓口として周知できた
 - ウ 講演会を松阪市と共同開催し、市民参加者への理解促進につながった。
 - エ 居場所での活動充実を目的に企業を訪問した結果、企業への理解促進にもなった
- ひきこもり支援連携会議で学び合い、専門支援機関との関係を構築し、協働の在り方を醸成することができた
- 相談に応じ、必要な支援機関とともに訪問支援を行った。また、参加支援事業者とともに対象者が地域で活躍できる場を提案した
- よりそいサポーター養成講座にて19名もの協力者を募り、ワーキングの定期開催で学びを深め、他市町サポーター同士の交流会を開催し、その役割を実証できた
- 当事者の居場所「蔵」を定期的で開催し、利用者に提供する軽作業を用意するにあたり企業を訪ね、活動に協賛依頼を行った
- 家族教室で理解を深めて、交流会で日頃の悩みの共有を行った。

◆活動実績

- 相談の内訳
 - ア 相談対応：新規 63件(実件数)、継続 227件(延べ件数)
 - イ 訪問支援自宅訪問 85回、出張相談会 5回
- 当事者や家族に向けた居場所や集いの機会の提供
 - ア 当事者の居場所開催 22回
 - イ 家族のつどい開催 3回
- ひきこもり支援連携会議の開催 6回

(単位:円)

事業名	生活困窮者自立相談支援事業		
担当部署	地域生活支援課	生活相談支援係	予算額 25,073,000
経営計画との 関連性	目 標	2	執行済額 24,065,641
	実施項目	(2)	執行率 96.0%

【取り組み・成果】

- 生活と就労に関するワンストップ窓口の実施

ア 共同募金の「生活応援ふくし事業」担当者と生活困窮者の就労支援に関する取組みについて協議を行い、貸出用のカッターシャツやネクタイ、証明写真用のプリンタを購入するなど、支援策を充実させることができた

イ 就労支援を希望する相談者に対して、積極的に生活保護受給者等就労自立促進事業につなげ、ハローワーク松阪と連携して支援を行うことができた

○ 必要に応じたアウトリーチを実施

○ 無料職業紹介

ア 個別に企業へアプローチする他、共同募金の「企業訪問」に同行して、無料職業紹介所への求人登録や就労準備支援事業の協力事業所を開拓した

○ 新型コロナウイルス感染症に関連する特例措置として、住居確保給付金の緩和措置が講じられていたが、令和4年度末で特例措置が終了になったため、特例措置終了後の複合的な課題に対して相談支援を行った

○ 生活福祉資金の相談に生活相談支援センター職員が同席することで、相談支援が必要な方に対する早期介入を図った。相談内容に応じて、就労支援や家計相談、その他の支援策の紹介など、慢性的な課題へのアプローチを行った。これは、生活相談支援センターの周知にもつながった

◆活動実績

支援内容	内訳	件数
相談支援	新規相談受付	458
	継続相談	5,343
	プラン作成	80
就労支援	就職決定	64
	面接のためのスーツ貸出	10
	履歴書証明写真の撮影	14
住居確保給付金	延べ相談	221
	申請	7
	支給決定	7
その他	相談支援員養成研修	1

(単位：円)

事業名	生活困窮者家計改善支援事業		
担当部署	地域生活支援課	生活相談支援係	予算額 5,592,000
経営計画との 関連性	目標	2	執行済額 5,236,000
	実施項目	(2)	執行率 93.6%

【取り組み・成果】

○ コロナ禍が明けて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方の相談が減少し、一般的な家計支援が必要な方からの相談が中心となった

○ 滞納がある相談者へは、必要に応じて窓口への同行や電話口に同席して分納などの相談へ支援を行った。債務状況によっては、弁護士や司法書士、消費生活センターなどの専門機関などにつなぎ、必要に応じて同行支援を行った

○ 生活福祉資金におけるコロナ禍の特例貸付の償還猶予の相談や、借入申込の相談時などに生活相談支援センター職員が同席し、必要に応じて家計支援につながるよう相談者へ働きかけを行った

◆活動実績

支援内容	件数
相談	733
家計再生プラン作成	29
弁護士や司法書士等への連携支援 (法テラス、多重債務連携システム、消費生活センター等への相談含む)	27

- 主な支援の内容
 - ア 家計管理に関する支援(家計表及び家計計画表の作成等、家計の「見える化」を実施)
 - イ 分納相談、支出軽減等手続き及び家計の状況により生活保護の相談への同行支援
(収納課、保険年金課、介護保険課、保護課、弁護士・司法書士等)
 - ウ 貸付のあっせんにまつわる支援
- その他
 - ア 家計改善支援員養成研修: 1名修了

(単位:円)

事業名	生活困窮者就労準備支援事業		
担当部署	地域生活支援課	生活相談支援係	予算額 6,434,000
経営計画との 関連性	目 標	2	執行済額 6,178,094
	実施項目	(2)	執行率 96.0%

【取り組み・成果】

- 相談者の状況に合わせて就労準備支援プログラムを作成。
 - ア 地域の農家の方の協力で、野菜や果物の収穫体験を実施した
 - イ 本所および松阪支所の「あったかごはんプロジェクト」の準備から当日の配布まで関わるボランティア体験を実施した
 - ウ 就労継続支援 B 型事業所の作業を体験し、受診や手帳取得に向けた動機付けを行うことができた
 - エ その他、単発の簡単な事務作業の就労体験やボランティア体験を実施した
- 就労準備支援事業の協力事業所・機関として、新たに 4 件の事業所と 1 件の個人の方から新規登録があった。

◆活動実績

支援内容	件数
相談	203
就労準備支援プログラム作成	5
就労準備支援協力事業所 (うち 8 事業所は令和 5 年度新規登録)	30

- 主な支援の内容
 - ア 就労継続支援 B 型事業所 第二南勢就労支援センターにて就労体験同行
 - イ あったかプロジェクトお手伝いボランティア同行、社協内事務作業ボランティア同行、タケガワ動物園ボランティア体験同行
 - ウ 就労準備支援事業利用者の病院受診同行
- その他
 - ア 社会福祉法人太陽の里、有限会社東川ゴム、株式会社 NAKAGAWA、亀井商店と就労体験協力事業所覚書を締結
 - イ 共同募金の依頼と併せた企業訪問を実施。協力事業所登録を依頼
 - ウ 隔月 ひきこもり支援連携会議出席

第4章 在宅福祉サービス部門

1 部門総括

令和5年度も職員及び利用者新型コロナウイルス感染症の感染者が多数出ましたが、感染症対策を徹底することにより、感染の拡大を防止することができました。

指定管理施設の公募に向けたプレゼンテーション資料作成などのサポートを行いました。審査選定の結果、引き続き指定管理者として選定され、介護・障がい事業の拠点を確保することができました。また、宮前事務所の施設マネジメントを行い、飯高地域振興局への移転が決定し、令和5年度末に移転することができました。今後も地域に密着した事業所として運営していきます。

事業マネジメントにおいて、嬉野いきいきサロンの受託を令和5年度末で終了し、新たな法人へ引き継ぎを行いました。また、ふっきー体操くらぶ及びサン・ウイングスみくもについては、令和6年度から事業再編し新たな形で事業をスタートすることになりました。

令和5年度は、物価高騰による厳しい経営状況を予測していましたが、物価高騰補助金の活用や食事代の値上げにより、影響を最小限に抑えることができました。ただ、依然として事業運営は厳しい状況が続いているため、引き続き事業マネジメントを進めていきます。

1 事業シート

(1) 在宅福祉サービス事業

(単位：円)

事業名	在宅福祉サービス事業			
担当部署	在宅福祉サービス課		予算額	1,118,000
経営計画との 関連性	目 標	3	執行済額	924,289
	実施項目	(1)	執行率	82.7%

【取り組み・成果】

- 法令遵守
 - ア 年2回の内部監査を実施し、必要に応じ指導を行った
 - イ BCP(自然災害・感染症)の作成をサポートした
 - ウ 指針を整備した(感染症・虐待・身体拘束)
- サービスの質の向上
 - ア 計画作成勉強会を開催した
 - イ 変更届・体制届及び書類作成マニュアル(訪問介護事業、緩和型通所介護事業)を作成した
 - ウ 障がい事業所の利用者満足度アンケート及び虐待防止セルフチェック実施により、課題解決に向けた取り組みを行った
 - エ 研修会の開催及び受講案内を行った
- 財源確保
 - ア 令和6年1月から通所介護及び嬉野生活介護の食事代を70円値上げした
 - イ 三重県の物価高騰対策支援補助金及び松阪市の運営支援交付金を受給した(6,889,000円)
 - ウ 新規加算取得のサポート(通所介護事業)
 - エ 管理者会議での事業計画の進捗確認
- 施設・事業マネジメント
 - ア 指定管理施設のプレゼンテーション資料作成をサポートした
 - イ 松阪市と委託事業について協議し、嬉野いきいきサロンの受託を令和5年度末で終了した
 - ウ 令和6年度よりふっきー体操くらぶの利用定員及びサービス提供時間を午前のみに変更するため、計画的に準備を進めた
 - エ 宮前事務所の移転について協議し、令和5年度末に飯高地域振興局2階へ移転した
 - オ サン・ウイングスみくもの就労継続支援B型事業の利用者を嬉野ゆうゆうへ移行する

方針が決定し、令和5年度末に利用者の移行が完了した
 カ 人員確保のため福祉の就職フェアへ出展したが、募集人員には達しなかった
 キ 事業所職員の適正人数を提示したが、要員計画の検討材料として活用できなかった
 ク 経営セミナーへ参加したが、すぐに事業運営に反映できなかった

- リスクマネジメント
 - ア リスクマネジメント冊子の作成及び周知を行った
- 感染症対策
 - ア 新型コロナウイルス感染症の三重県及び松阪市への報告方法変更及び社会的検査の周知を行い、社会的検査を事業所にて実施した
 - イ 感染症防止研修会へ参加した
- 職員の負担軽減
 - ア 使用しやすい様式について検討し、様式変更を依頼した

(2) 高齢者福祉サービス

事業名	訪問介護事業(松阪・飯高)		
担当部署	訪問介護事業所		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位：円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	30,879,090	26,771,180	57,650,270
事業活動支出	33,261,267	22,927,892	56,189,159
差引	△2,382,177	3,843,288	1,461,111

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 特定事業所加算Ⅱを算定し、収益改善に努めた(松阪・飯高)
- 多職種連携による在宅でのターミナルケアを実施した
- 職員募集により登録ヘルパーを採用した
- 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターへ空き情報を提示し、新規利用者の獲得に努めた
- 職員の個別課題に沿った研修会を実施し、資質向上に努めた
- 宮前事務所の移転について協議し、令和5年度末に飯高地域振興局2階へ移転した(飯高)

事業名	通所介護事業(嬉野・三雲・飯南・飯高)		
担当部署	通所介護事業所		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位：円)

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	71,083,148	55,709,170	87,801,515	45,133,630	259,727,463
事業活動支出	71,338,715	52,834,309	72,936,917	59,529,334	256,639,275
差引	△255,567	2,874,861	14,864,598	△14,395,704	3,088,188

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 中重度者ケア体制加算(三雲・飯南)、個別機能訓練加算Ⅰ口(嬉野)、個別機能訓練加算Ⅱ(飯南)、認知症加算(飯南)、運動器機能向上加算(飯南)を算定し、収益改善に努めた
- 書類作成マニュアルを活用し、事務の効率化が図れた
- 研修会に参加し、資質向上に努めた
- 居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへ空き情報を提示し、新規利用者確保に努めた
- 訪問理容サービス(三雲・飯南)の開始及び松阪市外の利用者受入れを実施した

- 多職種連携による医療依存度の高い利用者の受入れを行った
- 物価高騰調査の結果、令和6年1月から食事代を70円値上げした
- 入浴の給湯設備の修理を行ったが、ろ過循環ポンプが老朽化しているため、今後も修理が必要(三雲支所)

事業名	総合事業(松阪)		
担当部署	福っきー体操くらぶ		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位：円)

	松阪支所
事業活動収入	12,502,650
事業活動支出	13,597,273
差引	△1,094,623

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 業務見直しにより時間外を削減できた
- 医師の指示に基づいた新たな運動メニューを実施した
- 令和6年度より事業実施場所及び利用定員、サービス提供時間を変更するため、計画的に準備を進めた
- 事業再編に向け利用者、関係機関との連絡調整を行った

事業名	外出支援通所サービス運営事業(嬉野・飯高)		
担当部署	嬉野いきいき・飯高サテライト		
経営計画との関連性	目 標	1	実施項目 (1)

◆事業活動収支 (単位：円)

	嬉野支所	飯高支所
事業活動収入	7,514,050	9,155,900
事業活動支出	7,514,050	9,104,936
その他の活動による支出	0	50,964
差引	0	0

【取り組み・成果】

- 新規利用者を獲得するため、チラシを作成し、地域及び福祉団体へ周知を行った
- 松阪市と協議し嬉野いきいきサロンを令和5年度で終了し、新たな法人へ引継ぎを行った。飯高サテライトについては、事業継続となった
- 外出やボランティア受入れ、地域との交流を再開した

事業名	居宅介護支援事業(松阪・嬉野・飯高)		
担当部署	居宅介護支援事業所		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位：円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	57,237,120	61,572,750	35,151,820	153,961,690
事業活動支出	52,858,216	51,847,157	34,134,325	138,839,698
差引	4,378,904	9,725,593	1,017,495	15,121,992

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 週1回事例検討会を開催し、介護支援専門員の育成に努めた
- ケアプランデータ連携システムについて検討し、令和6年度からの導入を決定した(松阪)
- 他法人との合同研修会を開催し、資質向上と連携強化に取り組んだ

- 介護支援専門員及び社会福祉士、看護学生の実習指導を行った
- 多職種連携により地域課題の解決に取り組んだ
- 出前講座で介護保険制度の周知を行った結果、新規利用につながった
- 宮前事務所の移転について協議し、令和5年度末に飯高地域振興局2階へ移転した(飯高)
- 支所間研修を開催し、資質向上及び連携強化を図った
- 新人職員マニュアルの見直し、職員へ周知した
- 加算取得チェックシートを作成し、加算取得に努めた
- 地域担当及び民生委員児童委員と連携し、個別支援に取り組んだ

事業名	地域包括支援センター事業 ※介護予防支援事業を含む			
担当部署	第二地域包括支援センター・第三地域包括支援センター			
経営計画との関連性	目 標	1、2、3	実施項目	1-(1)、 2-(1)、(2)、 3-(1)、(2)

◆事業活動収支

(単位：円)

	第二包括(センター事業)	第三包括(センター事業)
事業活動収入	42,533,000	37,008,400
事業活動支出	44,095,027	35,540,949
その他活動による収入	3,791,837	187,636
その他活動による支出	2,229,810	1,655,087
差引	0	0

(単位：円)

	第二包括(予防プラン)	第三包括(予防プラン)	収支計
事業活動収入	16,501,480	5,531,960	22,033,440
事業活動支出	15,663,202	4,823,391	20,446,873
差引	838,278	708,569	1,546,847

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 民生委員児童委員とサービス事業所との交流会を開催し、連携を図った
- 認知症サポーター(キッズ含む)養成講座を開催し、認知症の周知啓発に努めた
- 介護支援専門員を中心とした勉強会や研修会を開催し、資質向上に努めた
- 医療と介護の連携強化会議を開催した
- 松阪市ケアプラン点検を実施し、地域の介護支援専門員の資質向上に努めた
- 虐待防止を含む見守り強化のための啓発活動を実施した
- 松阪市版エンディングノートの普及啓発に努めた
- 福祉まるごと相談室、地域担当、コミュニティソーシャルワーカーとの情報共有や同行訪問を行った。
- 地域ケア会議の開催により、地域づくり(移動販売)や見守りネットワークの構築に繋がった
- 関係機関との連携により、地元企業での相談会開催につながった
- 自主グループの活動が再開され、地域活動の支援を行った
- 飯高会議を再開し、地域課題の解決に取り組んだ
- 75歳実態把握調査が当初の予定件数を大幅に超えて実施できた
- 地域の関係者との連携強化により、総合相談件数が昨年度より増加した
- 成年後見センターと連携し、必要に応じ紹介を行った

事業名	介護保険認定調査事業(松阪・嬉野・飯高)			
担当部署	居宅介護支援事業所			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	-

◆事業活動収支

(単位：円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	15,105,970	3,880,800	809,600	19,796,370
事業活動支出	12,316,775	3,186,668	1,166,392	16,669,835
差引	2,789,195	694,132	△356,792	3,126,535

【取り組み・成果】

- 介護支援専門員資格の更新案内及び資格更新研修の受講サポートを行った
- ポスター掲示及び本会ホームページ、広報誌へ認定調査員募集を行い、3名の調査員を確保できた
- 意見交換会を開催し、調査エリアの見直しを行い、移動の負担を軽減した
- 同行訪問や勉強会を開催し、新人認定調査員の資質向上に努めた

(3)障がい者福祉サービス

事業名	移動支援サービス事業(松阪・飯高)			
担当部署	訪問介護事業所			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支

(単位：円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	693,100	816,200	1,509,300
事業活動支出	141,973	150,836	292,809
差引	551,127	665,364	1,216,491

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 特定事業所加算Ⅱを算定し、収益改善に努めた(松阪・飯高)
- 移動支援サービスの空き状況を関係機関へ周知した
- 職員募集により登録ヘルパーを採用した
- 職員の個別課題に沿った研修会を実施し、資質向上に努めた

事業名	居宅介護事業(松阪・飯高) ※同行援護を含む			
担当部署	訪問介護事業所			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支

(単位：円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	20,251,990	8,161,520	28,413,510
事業活動支出	10,192,056	8,324,372	18,516,428
差引	10,059,934	△162,852	9,897,082

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 特定事業所加算Ⅱの算定による収益改善に努めた(松阪・飯高)
- 職員募集により登録ヘルパーを採用した
- 関係事業所へ空き情報提示し、新規利用者を獲得した
- 利用者の支援内容を見直し、業務の効率化を図った
- 職員の個別課題に沿った研修会を実施し、資質向上に努めた
- 利用者ニーズに応えるため、同行援護の有資格者を増やした
- 宮前事務所の移転について協議し、令和5年度末に飯高地域振興局2階へ移転した(飯高)

事業名	生活介護事業(嬉野)			
担当部署	生活介護事業所			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支 (単位：円)

	嬉野支所
事業活動収入	46,633,690
事業活動支出	47,543,722
差引	△910,032

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 利用者満足度アンケート及び虐待防止セルフチェック実施により、課題解決に向けた取り組みを行った
- 虐待防止研修及び虐待防止のための事例検討会に参加し、資質向上を図った
- 虐待防止マニュアルの読み合せを実施した
- 特別支援学校実習生の受入れをし、新規利用者を獲得できた
- サービス管理責任者の資格を取得をした
- 特別支援学校イベントに参加し、学校との連携を図った
- ボランティアとの交流会を実施した
- 赤い羽根共同募金の助成金を活用した行事を開催し、地域交流を図った
- 事業連絡連携会議に参加し、関係機関との連携を図った

事業名	就労継続支援 B 型事業(松阪・嬉野・飯高)		
担当部署	えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位：円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	30,031,361	28,179,982	35,809,538	94,020,881
事業活動支出	33,198,665	32,280,325	26,243,111	91,722,101
差引	△3,167,304	△4,100,343	9,566,427	2,298,780

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 利用者満足度アンケート及び虐待防止セルフチェック実施により、課題解決に向けた取り組みを行った
- 虐待防止研修及び虐待防止のための事例検討会に参加し、資質向上を図った
- 虐待防止マニュアルの読み合せを実施した
- 業務見直しにより時間外を削減できた
- 特別支援学校の事業所フェアに参加し実習先に選定された
- 新規請負先の開拓により平均工賃が向上し、令和6年度から上位区分が算定できるようになった(松阪・嬉野・飯高)
- 地元企業と連携し、共同開発した自主製品を道の駅「飯高駅」で販売した
- 休日に事業所を開設し、収益増に取り組んだ
- 地域イベントでの自主製品の販売や地域交流を図った
- 事業マネジメントの実施に向けた三支所協議(松阪・嬉野・三雲)を行った
- サン・ウイングスみくもの就労継続支援 B 型事業利用者 8 名の受け入れを行った(嬉野)
- 済生会松阪総合病院の特定検診日にブース出展を行い、事業所の周知を行った(松阪)
- 三重県立松阪あゆみ特別支援学校の実習生 4 名の受入及び卒業生 1 名を受入れた(松阪)

事業名	多機能型事業(三雲・飯南)		
担当部署	サン・ウイングスみくも、夢風船		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支

(単位：円)

	三雲支所	飯南支所	収支計
事業活動収入	50,426,275	44,692,256	95,118,531
事業活動支出	45,393,371	43,633,196	89,026,567
差引	5,032,904	1,059,060	6,091,964

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 利用者満足度アンケート及び虐待防止セルフチェック実施により、課題解決に向けた取り組みを行った
- 虐待防止研修及び虐待防止のための事例検討会に参加し、資質向上を図った
- 虐待防止マニュアルの読み合せを実施した
- 特別支援学校の事業所フェアに参加し、周知することで新規利用につながった
- 9月より施設外就労を開始し、工賃向上に努めた(夢風船)
- サービス利用に至っていない障がい者に対してコミュニティソーシャルワーカーとの同行訪問を実施し、サービス利用につなげた
- 自主製品の新たな販路の拡大(雑貨店)を図った
- 自助具作成による作業効率の向上を図った
- 非常災害を想定した訓練を実施した
- 令和5年度末でサン・ウイングスみくも就労継続支援B型事業を廃止し、8名の利用者が嬉野ゆうゆうへ移行した
- 令和6年度の事業再編に向け相談支援事業所への周知を行い、新規利用につながった(三雲)

事業名	日中一時支援事業(嬉野・三雲・飯南・飯高)		
担当部署	嬉野ゆうゆう、サン・ウイングスみくも、夢風船、飯高じゃんぷ		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支

(単位：円)

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	155,540	7,177,132	7,920,033	888,270	16,140,975
事業活動支出	44,500	471,109	997,361	331,220	1,844,190
差引	111,040	6,706,023	6,922,672	557,050	14,296,785

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 特別支援学校の事業所フェアに参加し、新規利用者を獲得した
- 夕方や土曜日の利用者の利用ニーズに対応し、収益増につながった

事業名	外部サービス利用型共同生活援助事業(三雲・飯高)		
担当部署	みくもホーム、はとりあ飯高		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支

(単位：円)

	三雲支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	14,964,500	14,093,733	29,058,233
事業活動支出	14,719,414	16,088,045	30,807,459
差引	245,086	△1,994,312	△1,749,226

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 利用者満足度アンケート及び虐待防止セルフチェック実施により、課題解決に向けた取り組みを行った
- 虐待防止研修及び虐待防止のための事例検討会に参加し、資質向上を図った
- 虐待防止マニュアルの読み合せを実施した

- 短期入所事業廃止に伴い、入所定員を7名に変更した(三雲)
- 夜間支援等体制加算Ⅱを算定し、収益改善に努めた(三雲)
- 地域への周知により宿直・世話人を採用できた
- 多機能型事業所職員の兼務により、入居者の課題の把握ができたことで支援に反映し、生活の安定につながった
- 入居者の新型コロナウイルス感染症の初動対応に課題があったため、感染症発生時のマニュアル見直しを行い、実際の動きや連絡体制などを職員間で確認を行った

担当部署	福らむ		
事業名	障がい者特定相談事業・障がい児相談事業(松阪)		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位：円)

	松阪支所
事業活動収入	13,691,960
事業活動支出	10,347,367
差引	3,344,593

【取り組み・成果】

- BCP(自然災害・感染症)を策定し、職員へ周知した
- 相談支援専門員協会などの研修会参加、相談支援専門別研修(就労支援)を受講し、資質向上に努めた
- 虐待防止アンケートを実施し、課題解決に向けた取り組みを行った
- 虐待防止マニュアルの読み合せを実施した
- 職員増員(兼務)により3名体制となったが、退職により元の2名体制に戻った
- 相談支援専門員の募集を行ったが、採用には至らなかった
- 多機関と連携し個別支援を行った

(4)その他の福祉サービス

担当部署	訪問介護事業所		
事業名	福祉有償運送事業(松阪・飯高)		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)

◆事業活動収支 (単位：円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	130,600	19,000	149,600
事業活動支出	28,048	1,381	29,429
差引	102,552	17,619	120,171

【取り組み・成果】

- 乗車記録簿の改正と半期毎の報告書を作成した
- 利用者ニーズに応えるため、有償運送の有資格者を増やした
- 訪問介護や院内介助などの併用により利用者増につながった

担当部署	訪問介護事業所		
事業名	訪問介護自費サービス(松阪・飯高)		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)

◆事業活動収支 (単位：円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
事業活動収入	194,000	34,000	228,000
事業活動支出	14,110	2,472	16,582
差引	179,890	31,528	211,418

【取り組み・成果】

- 訪問介護及び有償運送などの併用により利用者増につながった
- 介護保険サービス対象外の利用者ニーズに応えた

第5章 附属資料

1 法人経営部門

(1) 理事会・評議員会・監事監査

項目 (出席者)	開催日	議題など	審議 結果
R4 決算監査 (監事:2名)	R5.6.1 (木)	(1)令和4年度事業報告について (2)令和4年度収支決算について	
第1回理事会 (理事:7名) (監事:2名)	R5.6.12 (月)	第1号議案 令和4年度事業報告について 第2号議案 令和4年度収支決算について 第3号議案 令和5年度第1次補正予算について 第4号議案 評議員選任候補者の推薦について 第5号議案 役員選任候補者の推薦について 第6号議案 非常勤職員就業規則の一部改正について 第7号議案 多機能型事業運営規程(障害者多機能型事業所夢風船)の一部改正について 第8号議案 工賃支払い規程(障害者多機能型事業所夢風船)の一部改正について 第9号議案 日中一時支援事業運営規程(障害者多機能型事業所夢風船)の一部改正について 第10号議案 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について 第11号議案 令和5年度定時評議員会の開催について 報告事項 会長及び常務理事の職務執行状況報告について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
定時評議員会 (評議員:15名) (理事:2名) (監事:2名)	R5.6.20 (火)	第1号議案 令和4年度事業報告の承認について 第2号議案 令和4年度収支決算の承認について 第3号議案 令和5年度第1次補正予算の承認について 第4号議案 理事の選任について 第5号議案 理事の選任について 第6号議案 理事の選任について 第7号議案 理事の選任について 第8号議案 理事の選任について 第9号議案 理事の選任について 第10号議案 理事の選任について 第11号議案 理事の選任について 第12号議案 理事の選任について 第13号議案 監事の選任について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

		第 14 号議案	監事の選任について	承認
第 2 回理事会 (理事:8 名) (監事:2 名)	R5.6.28 (水)	第 1 号議案	会長、副会長及び常務理事の選 定について	承認
第 3 回理事会 書面決議	R5.9.25 (月)	第 1 号議案	第三者委員の選任について	承認
R5 随時監査 (監事:2 名)	R5.11.22 (水)	(1)令和 5 年度中間事業報告について (2)令和 5 年度中間収支決算について		
第 4 回理事会 (理事:9 名) (監事:2 名)	R5.11.30 (水)	第 1 号議案	令和 5 年度中間事業報告につい て	承認
		第 2 号議案	令和 5 年度中間収支決算につい て	承認
		第 3 号議案	定款施行細則の一部改正につい て	承認
		第 4 号議案	事務局規程の一部改正について	承認
		第 5 号議案	業務管理体制整備規程の一部改 正について	承認
		第 6 号議案	職員就業規則の一部改正につい て	承認
		第 7 号議案	職員給与規程の一部改正につい て	承認
		第 8 号議案	契約職員就業規則の一部改正に ついて	承認
		第 9 号議案	非常勤職員就業規則の一部改正 について	承認
		第 10 号議案	登録ヘルパーの雇用等に関する 就業規則の一部改正について	承認
		第 11 号議案	運用財産基金設置規程の一部改 正について	承認
		第 12 号議案	介護保険事業基金設置規程の一 部改正について	承認
		第 13 号議案	福祉事業基金設置規程の一部改 正について	承認
		第 14 号議案	育英奨学基金設置規程の一部改 正について	承認
		第 15 号議案	電子取引データの訂正及び削除 の防止に関する事務処理規程の 新設について	承認
		第 16 号議案	嬉野生活介護事業運営規程(嬉 野生活介護)の一部改正につい て	承認
		第 17 号議案	日中一時支援事業運営規程の一 部改正について	承認
		第 18 号議案	通所介護及び第 1 号通所事業	承認

		第 19 号議案	(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協嬉野支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
		第 20 号議案	通所介護及び第 1 号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協三雲支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
		第 21 号議案	通所介護及び第 1 号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯南支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
		第 22 号議案	令和 5 年度第 2 次補正予算について	承認
		第 23 号議案	令和 5 年度第 2 回評議員会の開催について	承認
		報告事項	社会福祉法人松阪市社会福祉協議会資金計画について	承認
第 2 回評議員会 (評議員:11 名) (理事:2 名) (監事:2 名)	R5.12.8 (金)	議案第 1 号	令和 5 年度中間事業報告の承認について	承認
		議案第 2 号	令和 5 年度中間収支決算の承認について	承認
		議案第 3 号	令和 5 年度第 2 次補正予算の承認について	承認
第 5 回理事会 (理事:9 名) (監事:2 名)	R6.2.28 (水)	議案第 1 号	令和 6 年度事業計画について	承認
		議案第 2 号	令和 6 年度収支予算について	承認
		議案第 3 号	令和 5 年度第 3 次補正予算について	承認
		議案第 4 号	会経理規程の一部改正について	承認
		議案第 5 号	職員給与規程の一部改正について	承認
		議案第 6 号	契約職員就業規則の一部改正について	承認
		議案第 7 号	非常勤職員就業規則の一部改正について	承認
		議案第 8 号	登録ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について	承認
		議案第 9 号	第 1 号通所事業(指定によ通所型サービス A)運営規程(つきー体操くらぶまつさか)一部改正について	承認

		議案第 10 号	日中一時支援事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について	承認
		議案第 11 号	日中一時支援事業運営規(サン・ウイングスみくも)の一部改正について	承認
		議案第 12 号	日中一時支援事業運営規程(松阪社協三雲支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
		議案第 13 号	日中一時支援事業運営規程(障がい者多機能型事業所夢風船)の一部改正について	承認
		議案第 14 号	日中一時支援事業運営規程(飯高じゃんぷ)の一部改正について	承認
		議案第 15 号	工賃支払い規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について	承認
		議案第 16 号	工賃支払い規程(サン・ウイングスみくも生活介護)の一部改正について	承認
		議案第 17 号	多機能型事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の廃止について	承認
		議案第 18 号	工賃支払い規程(サン・ウイングスみくも就労B)の廃止について	承認
		議案第 19 号	生活介護事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の新設について	承認
		議案第 20 号	松阪支所に関する規程の一部改正について	承認
		議案第 21 号	多世代交流センターいいなん施設管理運営規程の新設について	承認
		議案第 22 号	施設の長他の重要な職員の選任について	承認
		議案第 23 号	役員選任候補者の推薦について	承認
		議案第 24 号	第 3 回評議員会の開催について	承認
第 3 回評議員会 (評議員:13 名) (理事:2 名) (監事:2 名)	R6. 3. 7 (木)	議案第 1 号	令和 6 年度事業計画の承認について	承認
		議案第 2 号	令和 6 年度収支予算の承認について	承認
		第 3 号	令和 5 年度第 3 次補正予算の承認について	承認
		議案第 4 号	理事の選任について	承認

② 評議員選任・解任委員会

開催日	出席者	議題など	審議結果
R5. 6. 20(火)	評議員選任・解任委員 5名、理事 2名	第1号議案 評議員の選任について	承認

(2) 施設の運営・管理

① 貸館利用状況

事業名		令和3年度	令和4年度	令和5年度
松阪支所	貸館件数(件)	380	250	202
	利用者数(名)	4,315	2,813	2,277
嬉野社会福祉センター	貸館件数(件)	1,078	1,436	1,454
	利用者数(名)	10,688	14,845	17,605
ハートフルみくも保健福祉センター	貸館件数(件)	216	600	588
	利用者数(名)	5,127	9,477	14,774
ハートフルみくもスポーツ文化センター	貸館件数(件)	3,020	3,400	3,815
	利用者数(名)	28,038	37,846	47,760
飯南ふれあいセンター	貸館件数(件)	367	612	574
	利用者数(名)	8,256	7,658	7,570
飯南高齢者生活福祉センター	貸館件数(件)	281	252	200
	利用者数(名)	1,077	1,328	1,284
飯高高齢者生活福祉センター	貸館件数(件)	171	176	136
	利用者数(名)	833	897	907

② 施設入居の状況

事業名		令和3年度	令和4年度	令和5年度
飯高高齢者生活福祉センター	入居者数(件)	7	4	4
	延べ入居日数(日)	1,725	1,117	1,056

2 福祉のまちづくり部門
 (1) ボランティア派遣実績

活動分野	種別	松阪		嬉野		三雲		飯南		飯高		計	
		依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣
		件	名	件	名	件	名	件	名	件	名	件	名
障がい者関係	団体支援	1	51									1	51
	施設支援	3	10			13	49					16	59
	個別支援			52	52							52	52
	行事支援	2	3			1	13	2	7			5	23
高齢者関係	食事サービス			24	108			20	210	3	3	47	321
	安否確認	12	72	24	118							36	190
	施設支援	15	57			1	2					16	59
	行事支援	2	10			3	15					5	25
	居場所づくり							143	1061			143	1061
	その他	2	3	16	16					3	3	21	22
児童関係	団体支援	11	116									11	116
	居場所づくり	3	16									3	16
	託児												
	行事支援	8	60			3	6	3	15			14	81
	見守り活動					210	1420					210	1420
校学	福祉体験支援	8	47									8	47
	その他	4	12					1	7	1	4	6	23
他施設	環境整備												
	その他	1	7									1	7
その他	使用済み切手整理	20	152									20	152
	リサイクル活動	22	161			12	40					34	201
	地域支援					54	180	11	56	1	6	66	242
	啓発活動	9	47	2	2							11	49
	環境整備					1	5					1	5
合計		123	824	118	296	297	1730	180	1,356	8	16	726	4,222

3 在宅福祉サービス部門

(1) 高齢者福祉サービス

事業名		松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高
訪問介護事業所	延べ実利用者数(名)	829	—	—	—	709
	延べ利用回数(回)	7,399	—	—	—	6,893
通所介護事業所	延べ実利用者数(名)	—	730	499	936	518
	延べ利用回数(回)	—	8,527	6,125	8,920	5,631
総合事業 福っき一体操くらぶ	延べ実利用者数(名)	1,135	—	—	—	—
	延べ利用回数(回)	3,931	—	—	—	—
外出支援通所 サービス運営事業	延べ利用者数(名)	—	1,476	—	—	1,340
居宅介護支援事業	延べ総利用者数(名)	3,897	4,051	—	—	2,095
介護保険認定調査 事業	延べ調査件数(回)	3,418	880	—	—	184

(2) 障がい者福祉サービス

事業名		松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高
移動支援サービス 事業	延べ実利用者数(名)	71	—	—	—	41
	延べ利用回数(回)	149	—	—	—	164
居宅介護事業	延べ実利用者数(名)	243	—	—	—	124
	延べ利用回数(回)	4,546	—	—	—	1,636
生活介護事業	延べ実利用者数(名)	—	180	—	—	—
	延べ利用回数(回)	—	2,771	—	—	—
就労継続支援 B 型 事業	延べ実利用者数(名)	220	204	—	—	187
	延べ利用回数(回)	2,949	3,020	—	—	3,526
多機能型事業	延べ実利用者数(名)	—	—	318	323	—
	延べ利用回数(回)	—	—	5,377	5,377	—
日中一時支援事業	延べ実利用者数(名)	—	15	279	277	26
	延べ利用回数(回)	—	84	1,400	1,678	233
外部サービス利用 型共同生活援助 事業	延べ実利用者数(名)	—	—	84	—	84
	延べ利用回数(回)	—	—	2,381	—	2,223
障がい者特定相談 事業・障がい児相談 事業	対応件数(件)	者)600 児)140	—	—	—	—

(3) その他の福祉サービス

事業名		松阪	飯高
福祉有償運送事業	延べ実利用者数(名)	90	10
	延べ利用者数(名)	408	20

